



西会津中学校 学校だより

雄飛

【教育目標】
未来の可能性を創造していく生徒

自主

自律

敬愛

健康

令和4年12月23日発行
1月号 No.10
発行者 校長 佐藤 崇史

平和な社会を創る力を ～だからこそ「自律」を目指して～

本日で81日の登校日数だった長い2学期が終わります。長いと書きましたが、振り返ればあっという間です。生徒たちにとっては、「修学旅行」「光桐祭」「研修旅行」「職場見学」「各種部活動の大会」など、多くの行事があり、本当にたくさんのことを学んだ4か月となりました。

さて、先日発表された今年の漢字は、「戦」でした。ロシアのウクライナ侵攻により、「戦」争の恐ろしさを目の当たりにした一年。円安・物価高による生活上での「戦」、スポーツでの熱「戦」、挑「戦」も注目された年だったというのが選考の理由とのことです。

この「戦」に関連して、生徒たちには挑「戦」することの大切さを多くの場面で述べてきましたが、今回は「戦」争に関連して「平和」な社会を創ることについて書きたいと思います。

学校は何のためにあるのかと考えた時、その上位目標には「平和な社会の実現」があると思います。「人のために、世のために、よりよい社会をつくるために」学校はあるという人もいます。OECD（経済協力開発機構）は、教育の目的を、人生を通じて、個人の Well-being（健康で幸福な状態）を高め、社会の Well-being に貢献する人材を育てることとしています。社会の幸福に貢献する人材を育てるということは、「平和」な社会を創ることができる人材を育てることになります。

では、そのような平和な社会を創るためには、何が必要なのでしょう。まずは自分の Well-being を実現するために自ら行動し、自分の人生を自分で探究し、創り上げていくことが必要です。個人の Well-being があって、はじめて周りの他の人や社会のことが考えられるのです。「誰かがやってくれる」「誰かが決めてくれる」という意識では、これからの社会では生きていけません。まずは、自分で考えて、創り上げていくという当事者意識を持つことがまず大切になります。

自分の人生を自分で探究して、創り上げることの大切さを話すと「どうせ無理」「自信がない」ということを言う生徒がいます。私はその時、生徒にこう言います。「その無理というのは誰が決めたの?」「自信がないっていうけど、やってみたの?」と。

先日、1年生に校長授業を実施しました。その中で、動画やだまし絵を見せながら「人はこうだと決めつけると見えないものをつくってしまう」ことを経験してもらいました。これを私たちの夢や目標に当てはめると、「無理だと決めつけると、達成するための方法や可能性が見えなくなってしまう」ということになります。だからまず、「どうせ無理」という思い込みをなくすところから始めてほしいと伝えています。

この決めつけや思い込みはどうして起こるのでしょうか。それは周りの大人たちからの「あなたは〇〇なんだから」「できるわけではないでしょ」という決めつけられた言葉を繰り返し受け止めている中で作られます。私たち大人の言葉が子どもたちの可能性に大きく影響していることを忘れてはいけないと思っています。

そして、社会の Well-being の実現には、自分の居場所があって、自分らしく生きることができ、みんな自由だけど、平和的に共存できる社会を作ることが必要です。そのためには、お互いの自由を認めることになります。それができるためには、それぞれが自律していることが条件です。正しく自分で判断して行動できなければ、お互いの自由がただのわがままになりかねません。平和な社会の創り手となる生徒たちには、これからも自分で考え、様々な課題を自分事として捉えていくことの大切さを教えていきたいと思います。



平和は力では保たれない。平和はただ分かりあうことで達成できるのだ（アインシュタイン）

ビブリオバトル福島県大会「優勝」 ～新たな伝統の誕生です～

12月3日に第8回ビブリオバトル福島県大会が行われました。これまでの学級予選会、全校予選会を勝ち抜いた2年横山穂乃佳さんが、西会津中の代表として、見事に優勝しました。堂々とした表現力豊かな素晴らしいプレゼンに感動しました。昨年に引き続いての西会津中の県大会優勝。昨年の先輩の発表の良さを受け継いだ、聞いている人がワクワクする発表をする穂乃佳さんの姿から、西会津中のビブリオバトルの新たな伝統が誕生したことを感じました。



手作り弁当デー ～家族で「食」を考える時間として～



12月5日には手作り弁当デーを実施しました。平日の朝の実施ということで、保護者の皆様には大変ご苦勞をおかけしましたが、家庭で保護者の方と一緒に弁当を作るというこの取り組みは、家族のありがたみや食事を準備することの大切さを、直に感じることでできる貴重な時間だと考えています。いつも家族が準備してくれるのが当たり前ではなく、中学生ですから、自分で自分の食生活を管理する力も身に付けてほしいと思っています。今後も家庭で「食べる」ことについて話題にいただきながら、様々な取り組みを通して、子どもたちの健康な生活習慣の確立につなげていきたいと思っています。

校内レクリエーション大会 ～笑顔で感染対策をしながら～

12月5日には、生徒会企画の校内レクリエーション大会として、今年度はドッジボールとバスケットボールを実施しました。新型コロナウイルス感染症を心配しながらの大会とはなりましたが、ルールも含めて感染対策をしっかりと実施しての大会となりました。生徒会企画の魅力は、自分たちで考えて実施する行事であるということです。それこそ自分で考えるという意味でも大切ですし、感染対策をして全員が楽しめるようにするにはどうしたらよいかを考えるのはまさに、自分事として課題を解決する力につながります。何より、仲間と笑顔で過ごす姿に、学校での大切な時間だと感じました。



研幾堂5人衆ものがたり～西会津の歴史を知ることの大切さ～



12月22日には、西会津の偉人衆、「渡部 鼎」「石川暎作」「野沢鶏一」「山口千代作」「小島忠八」の五人について、「語りの会」の皆様の読み語りを聞かせていただきました。渡部思斎が開いた研幾堂で学んだ先人たちの活躍について、貴重なお話をうかがえました。西会津に生まれ、西会津に育った生徒たちにとって、この西会津からこれだけの業績を残した方々がいたことを知ることは、ふるさとに誇りを持つことにつながる、大切なことだと感じています。郷土のすばらしさを受け継いでいく子どもたちに、もっともっと西会津を知り、生まれ育った故郷への愛情を育ててほしいと思います。

時事通信社「教育奨励賞」優良賞表彰

ご報告が遅くなりましたが、西会津小学校と西会津中学校は、時事通信社の「教育奨励賞」優良賞を今年度受賞し、過日、表彰をしていただきました。

この賞は西会津小学校・西会津中学校の両校での受賞であり、西会津町が長年取り組んできた学校の特色ある教育実践について評価いただいたものです。中学校においては、特に地域の皆様にご協力いただきながら取り組んできた、西会津町の未来を考え、課題を追究していく「アントレプレナーシップ学習」が高く評価されました。このような素晴らしい賞をいただけたのは、地域の方々から中学校の教育活動に対して、長年ご理解とご支援をいただいていたおかげです。心から感謝申し上げます。

西会津の未来、これからの社会を担う生徒たちに、持続可能な社会の創り手としての必要な力を、これからも地域の皆様、保護者の方々と力を合わせて身に付けていきたいと思っています。今後とも、ご支援、ご協力のほどよろしくお願いいたします。



冬休み、過去最高の家庭学習を！～知識がなくては考えられない～

校長授業でも触れましたが、私たちは持っている知識を使って、読み取ったり、考えたりします。知識を獲得するのは必要なことです。この冬休み、過去最高の学習に挑戦しましょう。宿題だけでなく、「すらら」も使って苦手の克服です。特に3年生、この冬休みが勝負です。これ以上ないというぐらいの努力に挑戦です。やるのは自分のためなのであります。

1月の予定

- 10日(火) 3学期始業式
- 11日(水) 冬休み明けテスト
- 12日(木) 発育測定・体組成検査
- 13日(金) 野沢初市
- 18日(水) 熟読タイム9
- 20日(金) 第3回英語検定
- 25日(水) 後期専門委員会
部活動反省